

情報公開用文書（横浜市立大学で実施する医学系研究）
 (単施設研究用)

西暦 2025 年 11 月 7 日作成 第 1.0 版

研究課題名	手術分類の精緻化に伴う医療経済的影響のシミュレーション研究
研究の対象	厚生労働省の匿名診療等関連情報から提供される 2019 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までの期間に全国の DPC 対象病院で手術を受けた方が対象となります。 DPC とは：急性期入院医療を対象とした診療報酬の包括評価制度です。
研究の目的	整形外科領域を中心に手術の登録を行うためのコーディングが変更になる予定です。コーディングの変更による手術登録の影響や診療報酬がどう設計されるべきかを検討するための基礎的な情報を集計し提示します。
研究の方法	厚労省から提供された全国の DPC データ（診療報酬を請求するためのデータ）を用いて、手術の実施数や組み合わせなどの情報を用いて、現在そして将来的な登録のパターンを評価・予測します。
研究期間	西暦 20 年 月 日（研究機関の長の許可日）～ 西暦 2028 年 3 月 31 日 情報の利用、提供を開始する予定日：西暦 20 年 月 日（研究機関の長の許可日）
研究に用いる試料・情報の項目	【情報】 DPC に記録されている患者さんの手術術式、性別・年齢、併施手技、使用材料、医療費などの情報を使用します。
試料・情報の授受	本研究では、「研究組織」に記載されている「既存試料・情報の提供のみを行う機関」から上記の情報の提供を受けて実施します。 「既存試料・情報の提供のみを行う機関」から提供を受ける際は、情報を USB に保存し、パスワードをかけた状態で追跡可能な方法で郵送されます。 情報は、当院で少なくとも 5 年間保管します。廃棄する際は、復元できない方法で廃棄します。
個人情報の管理	本研究では個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。しかし、必要時に個人を照合できるよう管理する表（以下、対応表）を作成せず、「既存試料・情報の提供のみを行う機関」においても、同様に対応表は作成しないため、本学へ個人を特定できる情報が提供されることはありません。

情報公開用文書（横浜市立大学で実施する医学系研究）
 (単施設研究用)

試料・情報の 管理について 責任を有する 者	本学の個人情報の管理責任者は理事長ですが、その責務を以下の者に委任します。 研究責任者：横浜市立大学 データサイエンス研究科 隈丸 拓
利益相反	利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。本研究は厚生労働省特別研究費を用いて実施致します。本研究の研究者の間に、開示すべき利益相反はありません。
研究組織 (利用する者 の範囲)	【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学 データサイエンス研究科 隈丸 拓
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧する事が出来ますので下記連絡先までお申出下さい。</p> <p>本研究では、個人を特定できる情報を含まないかたちで情報の提供を受けます。当院で個人を特定することができないため、研究利用への拒否の連絡をいただいた際対応いたしかねますことをご了承ください。</p>	
<p>問合せ先：</p> <p>〒220-8107 横浜市西区みなとみらい2丁目2番1号 横浜ランドマークタワー7F 横浜市立大学 みなとみらいサテライトキャンパス (研究責任者・問い合わせ担当者) 隈丸 拓 Tel 045-681-7560</p>	